

大学コンソーシアムやまがた幹事会（平成24年度第5回）議事録

日 時 平成24年10月23日（火）15:00～17:00

場 所 ゆうキャンパス・ステーション

出席者 委員長 安田 弘法（山形大学）

副委員長 花岡 孝（東北芸術工科大学）

金内 良一（保健医療大学）

草苺 信博（米沢女子短期大学）

大川 健嗣（東北文教大学）

委 員 室岡 誠一（代理）（東北公益文科大学）

巻 久（代理）（羽陽学園短期大学）

瀬川 透（鶴岡工業高等専門学校）

迎田伊三郎（代理）（放送大学山形学習センター）

藤原 茂樹（産業技術短期大学校）

欠席者 委 員 山崎 彰（事業評価委員会委員長／山形大学）

栗山 恭直（企画会議委員長／山形大学）

岸 善一（農業大学校）

後藤 紀夫（山形県）

勝見 英一朗（山形工科短期大学校）

議事に先立ち、本日の議事録署名人を山形県立保健医療大学 金内副委員長と山形県立産業技術短期大学校 藤原委員にお願いしたい旨提案があり、了承された。

引き続き、委員長から、協議事項1に関連して山形大学の横井博教授が説明者として出席している旨紹介された。

[協議事項]

1 山形人材育成委員会の設置要項（案）について

横井教授から資料1に基づき提案があり、これに対して、委員から、「山形人材育成委員会の設置要項（案）については、山形大学からの受託を受け、事業展開するためのものであり、本案審議の前に、「大学間連携共同教育推進事業の一部について受託を受ける」旨について先議することが適当と考える。具体的には、その内容の事業計画変

更あるいは「山形大学より受託を受ける」との一文の議決でも良いと思う。」との提案があり、協議の結果、議長により、大学間連携共同教育推進事業の一部を山形大学より受託し本コンソーシアムを中心に事業展開を実施する事に関して審議することが宣せられ、この件について、協議の後、採決が行われ、賛成5校、反対1校、賛否無し3校の賛成多数で可決され大学間連携共同教育推進事業の一部を山形大学より受託し、本コンソーシアムを中心に事業展開を実施する事が了承された。

また、山形人材育成委員会の設置要項（案）については、議長より、設置要項第11条については、保健医療大学の意見を採用し、事務局提案を一部修正したい旨の発言があり協議の結果、了承された。また、補足資料により山形人材育成委員会・各部会の構成について説明があった。

（主な意見交換内容）

前回幹事会にて持ち帰り検討いただいた設置要項第11条について

- ・要項のつくり方としては一般的ではないが、各団体において懸念の無い様に協議決定することなので、本日、審議のうえ決定してはいかがか。
- ・改正権は制定権と同様に、コンソーシアム幹事会に置くのが妥当だと考える。
- ・保健医療大学の意見で良いのではないか。
- ・前回の幹事会でもご説明したが、改正については、的確かつ円滑な対応を図るため、幹事会の議（要項承認）が得られれば、権限を委員会総会に移譲しても構わないのではないかと考えている。
- ・急を要する場合には持ち回り（メール等）で幹事会を開催し対応する等をこの幹事会で申合せればいいのではないか。

大学間連携共同教育推進事業の一部を山形大学より受託し本コンソーシアムを中心に事業展開を実施する事について

- ・最初の議題として、「山形大学様からの事業受託」を議題とされ、多数決採決で可決されていれば、その後の各審議案件については、その可決を前提とした対応となるので、「修正提案あるいは賛成できず」との対応はしないものであるが、電子投票による総会の意見にも述べたように、遺憾ながら、その審議は後にして、周辺環境づくりの議題だけを次々に提案して審議が進められる。こうしたことから、やむを得ず、「大学間連携共同教育推進事業の一部の山形大学からの受託」の是非を決定いただくまでは、本学提案の「名実ともに山形大学が中核として運営する組織体の構築と事務局機能についても山形大学事務局様が担う体制」を前提として、個々の議題に対応していく。

→本事業は文部科学省の事業という性質上、全ての加盟校を連携校として申請することができなかった。ただ、採択後にはすべての加盟校で実施していきたい旨、説明し、「大学間連携共同教育推進事業」の関係大学コンソーシアムに大学コンソー

シウムやまがたが参画することについても幹事会では了承されている。

委員会・部会の構成について

- ・連携する取り組みに参画を希望する構成校については、希望があれば参加できるのか。
→そのとおりである。
- ・連携取組評価部会の各チームには連携機関は入らないのか。教育評価チームには連携機関を入れてはいかがか。
→連携機関に参画いただくのは部会であり、当初より変更はしていない。
→「IR システム評価」については、民間が評価に入らないことは当然のことと理解するが、「教育評価」については、各教育がどのように役立っているのか等の視点で、企業や外部の方々へ評価いただくことは有益と思う。本学は、その性質上、この評価には参加しないし、御来校いただくことも遠慮することとしているが、他の構成校については、積極的に評価いただくことが良いとも思う。部会で十分検討されることが良い。
- ・産業技術短期大学校では、今回の事業で色々なことを教員に学んでもらいたいと考えており、各チームの担当教員をリストアップしたところである。委員のメンバー表のイメージはどうなるのか？
→10月29日の委員会開催後に各機関に照会したいと考えている。
- ・連携校となっていないコンソーシアム構成校には、この人材育成委員会へ参加するかどうかの意思確認がされるのか。そして、そこで参加の意思が表明された構成校に委員会の案内文書が行くと考えて良いか。
→そのとおりである。意思確認を直ちに行う。

[その他]

事務局より、今後開催される、本コンソーシアム加盟校が実施する各種イベント等についての報告があった。

1. 連続シンポ「日本の美術教育を考える」について（東北芸術工科大学）
2. 山形県民シンポジウム in 庄内について（山形大学）
3. 男女共同参画シンポジウムについて（山形大学）
4. やまがた夜話 11月について（テーマ 6次産業化へ挑戦！山形の農業）
(大学コンソーシアムやまがた)。

次回開催について

今回は、第1回目の山形人材育成委員会の議を得て、大学コンソーシアムやまがたの事業計画の変更（案）及び補正予算（案）等について、持ち回りの幹事会を開催することとなった。

以上

【配付資料】

資料 No. なし

幹事会委員名簿

大学コンソーシアムやまがた会則

平成24年度 大学コンソーシアムやまがた幹事会議事録（平成24年10月16日）

（未署名）


資料1 山形人材育成委員会設置要項（案）について

[参考配布（各種事業等チラシ）]


- 1 連続シンポ「日本の美術教育を考える」について
- 2 山形県民シンポジウム in 庄内について
- 3 男女共同参画シンポジウムについて
- 4 やまがた夜話 11月について
ーテーマ 6次産業化へ挑戦！山形の農業ー

議事録署名人

山形大学理事・副学長

安 田 弘 法 

山形県立保健医療大学理事・事務局長

金 内 良 一 

山形県立産業技術短期大学校副学長

藤 原 茂 樹 